



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月30日

上場会社名 三井造船株式会社

上場取引所 東・大・名・福・札

コード番号 7003

URL <http://www.mes.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 泰彦

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 大賀 泰三

TEL 03(3544)3225

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	267,458	△0.3	9,561	△25.6	9,846	△31.8	3,016	△58.1
24年3月期第2四半期	268,366	△13.4	12,851	△47.5	14,447	△39.5	7,196	△37.6

（注）包括利益 25年3月期第2四半期 1,117百万円（△77.4％） 24年3月期第2四半期 4,947百万円（0.3％）

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第2四半期	3	64	—	—
24年3月期第2四半期	8	69	—	—

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
25年3月期第2四半期	628,145		207,162		28.4	
24年3月期	655,929		209,631		27.7	

（参考）自己資本 25年3月期第2四半期 178,684百万円 24年3月期 181,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0 00	—	4 00	4 00
25年3月期	—	0 00	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	3 00	3 00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	590,000	3.2	20,000	△36.3	19,000	△41.3	9,000	△49.7	10 87	

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	830,987,176株	24年3月期	830,987,176株
25年3月期2Q	2,851,993株	24年3月期	2,812,127株
25年3月期2Q	828,155,534株	24年3月期2Q	828,220,480株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
4. 補足情報	12
受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、長引く欧州経済の停滞や米国経済の足踏みに加え、中国経済の成長ペースの鈍化などの影響がアジア諸国や新興国の経済にも波及し、全体として減速感が強まっております。国内経済については、東日本大震災からの復興需要に底堅さはあるものの、世界経済の減速の影響及び日中関係の悪化に伴う生産の減少、設備投資や雇用情勢の低迷、為替の円高基調など依然として先行きの不透明感が強い状況が続いております。

このような状況下、当社グループは11中計（2011年度から2013年度までの経営計画）の中間年度にあたり、

(1) 企業総合力と環境エネルギー関係技術開発による事業拡大 (2) グローバル展開による事業拡大 (3) 厳しい時代に備えた製品競争力の強化 (4) 経営基盤のさらなる強化を掲げ、生産性の向上、コスト競争力の強化のための諸施策に取り組み、事業構造の変革を推し進めております。その一環として、第1四半期連結会計期間において従来の4事業本部・3機能本部を3事業本部・2機能本部への改編を行っております。今回の組織改編により、環境エネルギー分野を成長の柱とし、11中計の主要戦略として掲げた「企業総合力と環境エネルギー関係技術開発による事業拡大」と「グローバル展開による事業拡大」を加速し、より強力で推進してまいります。

当第2四半期連結累計期間の受注高は、前年同期と比べて323億42百万円減少の1,840億73百万円となりました。

売上高は、前年同期と比べて9億8百万円減少の2,674億58百万円となりました。営業利益は、主に機械部門が減益となったことにより、前年同期と比べて32億89百万円減少の95億61百万円となりました。経常利益は、営業利益の減少に加え持分法投資利益が減少したことにより前年同期と比べて46億1百万円減少の98億46百万円となりました。四半期純利益は、前年同期と比べて41億80百万円減少の30億16百万円となりました。

報告セグメント別の状況は次のとおりです。なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、詳細は、「3. (6) セグメント情報等」に記載のとおりであります。前年同期との比較は変更後の報告セグメントの区分に基づき記載しております。

(船舶海洋)

受注高は、FPSO（浮体式石油生産貯蔵積出設備）の追加工事やオペレーションサービスを受注したものの、新造船の受注が減少したことなどにより、前年同期と比べて74億58百万円減少の1,072億62百万円となりました。売上高は、ばら積み貨物運搬船、FPSOなどの建造工事を中心に、前年同期と比べて90億44百万円増加の1,592億35百万円となりました。営業利益は、前年同期並みの48億85百万円となりました。

(機械)

受注高は、コンテナクレーン、各種産業用機械、アフターサービス事業などが減少したことにより前年同期と比べて106億40百万円減少の357億61百万円となりました。売上高は、産業用機械が増加した一方、船用ディーゼル機関やアフターサービス事業などが減少したことにより前年同期と比べて54億53百万円減少の682億38百万円に、営業利益は、前年同期と比べて24億58百万円減少の51億11百万円となりました。

(エンジニアリング)

受注高は、前年同期に大口工事を受注した化学プラント並びに陸上発電プラントが減少したことなどにより、前年同期と比べて157億36百万円減少の291億55百万円となりました。売上高は、化学プラントが増加した一方、前年度に風力発電所建設工事、火力発電所用土木工事などの大口EPC（設計・調達・建設）工事が完了したことにより、前年同期と比べて36億26百万円減少の291億60百万円に、営業損益は、前年同期と比べて7億20百万円減少し、4億74百万円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ277億84百万円減少の6,281億45百万円となりました。これは、仕掛品が65億58百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が191億65百万円、投資有価証券が75億86百万円それぞれ減少したことなどによりです。

負債は、支払手形及び買掛金が139億03百万円、有利子負債（リース債務を除く）が98億36百万円それぞれ減少したことなどにより前連結会計年度末と比べ253億15百万円減少の4,209億83百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少などにより前連結会計年度末と比べ24億68百万円減少の2,071億62百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結会計期間末に比べて25億18百万円増加して662億34百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の収入は、前年同期と比べて125億24百万円増加の130億53百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益69億37百万円、減価償却費80億67百万円、売上債権の減少による収入188億11百万円があった一方、たな卸資産の増加による支出が65億64百万円、仕入債務の減少による支出が139億35百万円あったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出は、前年同期と比べて108億17百万円増加の49億36百万円となりました。これは主として、貸付金による支出が196億18百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出が43億74百万円あった一方、貸付金の回収による収入が183億51百万円あったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の支出は、前年同期と比べて96億99百万円減少の149億9百万円となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出が141億42百万円、社債の償還による支出が50億55百万円、配当金の支払額が33億1百万円あったことなどによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、ほぼ期初計画どおりに進捗しており、通期連結業績予想につきましては平成24年4月27日の公表数値から変更ありません。

なお、業績見通しにおける為替レートは1米ドル＝80円を前提としております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	63,494	62,870
受取手形及び売掛金	171,772	152,607
有価証券	1	1
商品及び製品	2,815	2,965
仕掛品	36,700	43,259
原材料及び貯蔵品	5,892	5,695
その他	56,488	52,228
貸倒引当金	△2,436	△2,034
流動資産合計	334,729	317,594
固定資産		
有形固定資産		
土地	114,960	114,598
その他(純額)	101,798	98,477
有形固定資産合計	216,758	213,076
無形固定資産		
のれん	4,663	4,548
その他	7,864	7,446
無形固定資産合計	12,527	11,994
投資その他の資産		
その他	92,934	86,965
貸倒引当金	△1,020	△1,484
投資その他の資産合計	91,913	85,480
固定資産合計	321,200	310,551
資産合計	655,929	628,145

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	146,777	132,874
短期借入金	13,837	12,314
1年内返済予定の長期借入金	31,576	32,826
1年内償還予定の社債	5,880	825
未払法人税等	6,328	5,182
前受金	48,974	49,241
保証工事引当金	6,125	5,535
受注工事損失引当金	9,686	13,802
その他の引当金	3,152	2,826
その他	29,791	26,234
流動負債合計	302,130	281,664
固定負債		
社債	15,000	25,000
長期借入金	78,271	63,762
退職給付引当金	5,150	5,363
役員退職慰労引当金	625	579
その他の引当金	1,269	1,268
資産除去債務	1,140	1,142
その他	42,711	42,202
固定負債合計	144,168	139,319
負債合計	446,298	420,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,384	44,384
資本剰余金	18,178	18,178
利益剰余金	101,050	100,946
自己株式	△671	△672
株主資本合計	162,942	162,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,962	1,780
繰延ヘッジ損益	△3,485	△4,260
土地再評価差額金	29,006	28,806
為替換算調整勘定	△10,911	△10,479
その他の包括利益累計額合計	18,572	15,846
少数株主持分	28,116	28,477
純資産合計	209,631	207,162
負債純資産合計	655,929	628,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	268,366	267,458
売上原価	235,554	238,037
売上総利益	32,812	29,420
販売費及び一般管理費	19,960	19,858
営業利益	12,851	9,561
営業外収益		
受取利息	834	765
受取配当金	422	522
持分法による投資利益	3,232	850
その他	1,172	1,147
営業外収益合計	5,661	3,286
営業外費用		
支払利息	1,234	1,049
退職給付会計基準変更時差異の処理額	982	982
その他	1,848	971
営業外費用合計	4,065	3,002
経常利益	14,447	9,846
特別利益		
関係会社株式売却益	65	—
特別利益合計	65	—
特別損失		
固定資産処分損	12	106
減損損失	333	360
投資有価証券売却損	—	4
関係会社株式売却損	—	118
投資有価証券評価損	859	2,318
貸倒引当金繰入額	322	—
特別損失合計	1,526	2,908
税金等調整前四半期純利益	12,986	6,937
法人税、住民税及び事業税	2,998	4,353
法人税等調整額	3,541	△937
法人税等合計	6,540	3,416
少数株主損益調整前四半期純利益	6,445	3,520
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△750	504
四半期純利益	7,196	3,016

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,445	3,520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,478	△2,132
繰延ヘッジ損益	1,498	71
為替換算調整勘定	1,569	366
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,088	△708
その他の包括利益合計	△1,498	△2,402
四半期包括利益	4,947	1,117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,763	490
少数株主に係る四半期包括利益	△816	627

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,986	6,937
減価償却費	8,342	8,067
減損損失	333	360
のれん償却額	182	184
貸倒引当金の増減額(△は減少)	56	79
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△531	164
前払年金費用の増減額(△は増加)	△1,484	△710
受取利息及び受取配当金	△1,256	△1,288
支払利息	1,234	1,049
持分法による投資損益(△は益)	△3,232	△850
為替差損益(△は益)	△347	△672
投資有価証券売却損益(△は益)	—	4
関係会社株式売却損益(△は益)	△65	118
投資有価証券評価損益(△は益)	859	2,318
固定資産処分損益(△は益)	12	106
売上債権の増減額(△は増加)	4,128	18,811
たな卸資産の増減額(△は増加)	△12,776	△6,564
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,020	△13,935
その他の資産の増減額(△は増加)	4,953	1,659
その他の負債の増減額(△は減少)	△4,401	802
その他	1,139	372
小計	4,112	17,015
利息及び配当金の受取額	3,043	3,247
利息の支払額	△1,350	△1,098
法人税等の支払額	△5,277	△6,110
営業活動によるキャッシュ・フロー	528	13,053

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△2,933	△1,149
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,071	△4,374
有形及び無形固定資産の売却による収入	32	38
投資有価証券の取得による支出	△1	△32
投資有価証券の売却による収入	—	2,058
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	16
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△71	—
関係会社株式の取得による支出	△4,592	△1
関係会社出資金の払込による支出	△104	—
貸付けによる支出	△37,300	△19,618
貸付金の回収による収入	55,829	18,351
その他	95	△224
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,881	△4,936
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,034	△1,118
長期借入れによる収入	10,433	700
長期借入金の返済による支出	△15,686	△14,142
リース債務の返済による支出	△1,509	△1,426
社債の発行による収入	—	10,000
社債の償還による支出	△10,115	△5,055
自己株式の取得による支出	△14	△6
配当金の支払額	△3,301	△3,301
少数株主への配当金の支払額	△503	△550
少数株主からの払込みによる収入	131	—
その他	△8	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,608	△14,909
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,149	1,018
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,048	△5,773
現金及び現金同等物の期首残高	79,799	72,007
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△34	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	63,715	66,234

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	船舶海洋	機械	エンジニアリング	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	150,191	73,692	32,786	256,670	11,696	268,366	-	268,366
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	163	5,369	160	5,693	696	6,389	(6,389)	-
計	150,354	79,062	32,947	262,364	12,392	274,756	(6,389)	268,366
セグメント利益	4,873	7,569	246	12,689	192	12,881	(30)	12,851

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、不動産賃貸業、各種サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△30百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	船舶海洋	機械	エンジニアリング	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	159,235	68,238	29,160	256,635	10,822	267,458	-	267,458
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	108	3,594	188	3,890	652	4,543	(4,543)	-
計	159,343	71,833	29,348	260,525	11,475	272,001	(4,543)	267,458
セグメント利益 又は セグメント損失 (△)	4,885	5,111	△474	9,523	38	9,561	-	9,561

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、不動産賃貸業、各種サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「企業総合力と環境エネルギー関係技術開発による事業拡大」と「グローバル展開による事業拡大」を目的とした会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「船舶事業」、「鉄構建設事業」、「機械事業」及び「プラント事業」の4区分から、「船舶海洋事業」、「機械事業」及び「エンジニアリング事業」の3区分に変更しております。また、変更後の報告セグメントごとの主要製品は次のとおりであります。

事業区分	主要製品
船舶海洋	船舶、艦艇、高速旅客船、海洋構造物、水中機器、国内橋梁、港湾関連構造物
機械	ディーゼル機関、蒸気タービン、送風機、圧縮機、プロセス機器、誘導加熱装置、半導体関連装置、液晶関連装置、物流運搬機
エンジニアリング	化学プラント、ごみ処理プラント、水処理プラント、資源リサイクルプラント、海外土木・建設工事全般、建設関連、発電プラント、バイオマス発電事業

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注及び販売の状況

受 注 高

(単位：百万円)

区 分	当第2四半期 連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)		前第2四半期 連結累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年9月30日)		増減額	増減比%	前連結会計年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%			金 額	構成比%
船 舶 海 洋	107,262	58.3	114,720	53.0	△7,458	△6.5	379,711	55.3
機 械	35,761	19.4	46,402	21.4	△10,640	△22.9	150,726	21.9
エンジニアリング	29,155	15.8	44,891	20.8	△15,736	△35.1	132,746	19.3
そ の 他	11,894	6.5	10,401	4.8	1,492	14.3	23,701	3.5
合 計	184,073	100.0	216,416	100.0	△32,342	△14.9	686,886	100.0

売 上 高

(単位：百万円)

区 分	当第2四半期 連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)		前第2四半期 連結累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年9月30日)		増減額	増減比%	前連結会計年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%			金 額	構成比%
船 舶 海 洋	159,235	59.6	150,191	56.0	9,044	6.0	318,589	55.7
機 械	68,238	25.5	73,692	27.5	△5,453	△7.4	155,306	27.2
エンジニアリング	29,160	10.9	32,786	12.2	△3,626	△11.1	72,220	12.6
そ の 他	10,822	4.0	11,696	4.3	△873	△7.5	25,735	4.5
合 計	267,458	100.0	268,366	100.0	△908	△0.3	571,852	100.0

受 注 残 高

(単位：百万円)

区 分	当第2四半期 連結会計期間末 (平成24年9月30日)		前連結会計年度末 (平成24年3月31日)		増減額	増減比%	前第2四半期 連結会計期間末 (平成23年9月30日)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%			金 額	構成比%
船 舶 海 洋	523,137	66.7	580,290	65.9	△57,152	△9.8	497,278	68.1
機 械	115,703	14.8	152,605	17.3	△36,901	△24.2	128,946	17.7
エンジニアリング	135,874	17.3	139,238	15.8	△3,364	△2.4	94,213	12.9
そ の 他	9,175	1.2	8,965	1.0	210	2.3	9,758	1.3
合 計	783,891	100.0	881,099	100.0	△97,207	△11.0	730,196	100.0